

従業員の皆様へ

自分自身だけでなく、家族や一緒に働く方を風しんからまもるために、下記の対策をご検討ください。

- 1 女性は…**

→妊娠前に風しんの予防接種をご検討ください。

※接種後2か月は避妊が必要です。
※2回の接種で、より確実に先天性風しん症候群を予防できます。
- 2 妊娠中の女性は…**

→ご家族の方に風しんの予防接種を検討して貰ってください。

※妊婦は風しんの予防接種を受けることができません。
※妊娠中で予防接種を受けられない場合には、人混みを避けるなど、風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けてください。
- 3 成人男性は…**

→以下をチェック！
□風しんにかかったことがない方
□風しんワクチンを受けていない方
□どちらも不明な方

該当する方は、風しんの予防接種をご検討ください。

※2回接種しても問題ありません。

風しん
流行中

今年の患者報告数は昨年の約30倍*

*2012年同時期での比較(2013年第15週まで)

あなたの職場でも 風しん予防対策されていますか？

今、風しんにかかる患者のうち、働く年齢層の方が多くなっています。

最もよくないのは、妊婦を経由して、赤ちゃんが先天性風しん症候群になることです。

事業者の皆様へ

健康で安心な職場の環境整備のため、下記の対策をご検討ください。

- 1 従業員が予防接種のために医療機関などの受診を希望した場合には、ご配慮ください。**
- 2 入社時などに、予防接種の記録の確認を本人に呼びかけるようにしてください。**
- 3 職場での感染予防のため、風しんにかかった人の休暇についてご配慮ください。**
- 4 従業員に対し、風しん抗体検査の機会を設けるようご配慮ください。**



Q & A 職場での風しん予防対策

Question 1 なぜ職場で風しん予防対策が必要なの？

それは、今、風しんにかかる患者は働く層の方が多いからです。

- 全風しん患者の約70%が男性。そして、男性患者

の約80%は20～40代と労働人口と重なります。

- また、女性患者の約75%も10代後半～30代。

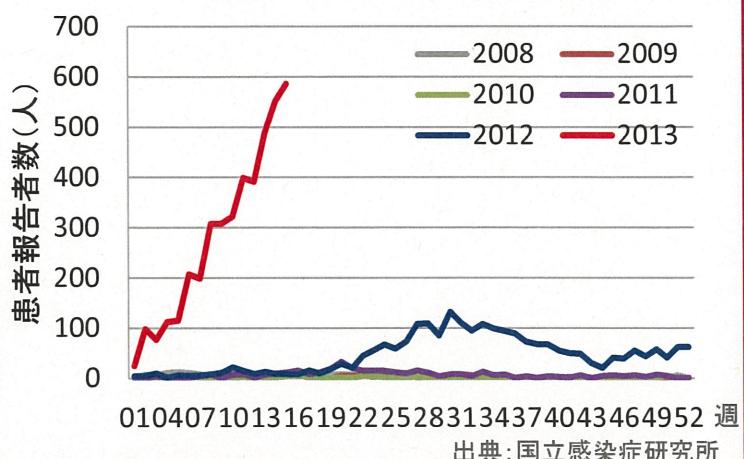
※2011年の国調査によると、20代～40代の男性の

約15%に風しんの免疫がなく、女性の約15%は風しん

の免疫がないまたは、不十分であることがわかっています。

◎職場での風しん予防対策は、社会全体の風しん感染拡大防止にもつながりますので、予防のご理解、ご協力をお願い致します。

【風しんと報告された患者数】



出典：国立感染症研究所

Question 2 なぜ風しんにかかるとよくないの？

1番よくないのは、妊娠を経由して赤ちゃんが先天性風しん症候群になること。

- 妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの障がい(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

Question 3 そもそも風しんってどんな病気？

- 風しんウイルスが感染者の飛沫(唾液のしぶき)などによって他の人にうつります。
- 主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れ(3つの主な症状)が認められます。3つの症状がそろわない人も多く、感染しても症状がない人は約15～30%程度います。
- 通常は自然に治りますが、まれに脳炎になったり、血小板という血液の成分が減少して、皮膚に紫斑が現れる人もいます。関節が痛くなる人もいます。症状が出る前後の約1週間は、周りの人にうつす可能性があります。

Question 4 風しんにかかってしまったら？

- 勤務先と相談の上、感染を周りに広げないように自宅で休みましょう。
- やむを得ず外出する際には、マスクを着用し、できるだけ人混みを避けましょう。
- 風しんを疑う症状を認めたら、無理をして職場に行くことはやめ、医療機関に相談しましょう。

Question 5 予防接種を受けるには？

- 予防接種を受ける場合、麻しん対策の観点も考慮して、麻しん風しん混合ワクチンを接種することをお勧めしています。
- 予防接種の実施医療機関については、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

※妊娠期間中は予防接種を受けられません。

準備OK?

風しん
流行中!

妊娠を考えるなら、 麻しん風しん混合ワクチンを

ご結婚おめでとうございます！

新生活の準備でお忙しいことと思いますが、妊娠を考えるなら、

**麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種を
ご検討ください。（相談はお住いの市区町村へ）**

妊活の第一歩！

- 20-40代の女性の約15%は、風しんへの十分な免疫を持っていません。
- 妊娠中、特に妊娠20週頃までに風しんにかかると、赤ちゃんに耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなるなどの障がい（先天性風しん症候群）が現れる可能性があります。

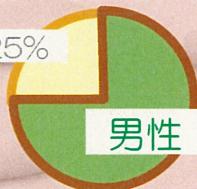


妊娠中は予防接種が受けられませんので、女性は妊娠前に予防接種を受けることをご検討ください。

男性も注目！

- 風しんと報告された方の7割以上が男性、そのうち8割以上が20-40代。
- 20代～40代の男性の約15%は、風しんへの免疫を持っていません。

女性：25%



男性：75%

【風しんの報告】

50代以上：5%

20-40代：82%

20代未満：13%

【男性の年代別風しん報告割合】

出典：国立感染症研究所（2012年）

お二人の赤ちゃんが先天性風しん症候群にならないように、
男性も予防接種を受けることをご検討ください。

予防接種について

- 風しんの予防接種を受ける場合は、風しんと同時に麻しんも予防できる、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の接種をお勧めしています。
- 予防接種を検討されたい方、受けたい方は、かかりつけ医やお近くの小児医療機関のほか、お住まいの市区町村にお問い合わせください。



厚生労働省

風しんについて、くわしくはこちらへ ⇒

風しん 厚生労働省

検索

